

# 芸術学部初の快挙

現役の  
院生が**日展で特選受賞**

崇城大学

崇城大学(熊本市西区)美術展覧会(日展)「」には11月9日、10月30日から11月22日まで東京の国立新美術館で行われた「改組 新 第7回日本」さんの作品が「第3科

彫刻」部門で特選を受賞したと発表した。在学中の現役大学院生の特選受賞は同研究科の所属母体である芸術学部が創設されて以来初の快挙となった。

日展は日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部

門からなる総合美術展。巨匠から新人まで、公募により全国各地から幅広い年代にわたる人たちの作品が出展する世界にも類のないものとなっている。今回同大学では、特選を受賞した奥森さんの作品「木洩れ陽」以外にも、同学部同学科日本画コース・彫刻コースの在校生や卒業生による作品が多く入選を果たしている。

10月22日に日展が発表した奥森さんの特選受賞理由は「自然体の動きの中に、すがすがしさを感ぜさせてくれる秀作である。おおらかな流れの中に、造形の確かさが光っている。確固たる存在感を発し、崇高な雰囲気さえ漂わせる」としている。奥森さんは受賞を受け「このような名誉ある賞を頂くことができとても驚いている。この作品は卒業制作で、コロナ禍で卒業に來られなかった人などたくさんの人に見てもらえるとうれしい」と述べている。

今回の日展ではこのほか、楠元香代子・同大学名誉教授が彫刻作品「曙」で内閣総理大臣賞を受賞。同大学でも楠元名誉教授の地元の新新聞で受賞が報じられた旨を発表している。

なお日展の巡回展として12月19日から来年1月15日まで京都市京セラ美術館で「改組 新 第7回日展京都展」が開かれる予定。